

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0007
園名	東京母子愛育会保育園

## 1.活動テーマ

# 水

### 〈テーマの設定理由〉

乳児部：手洗い場等で水に触れることを好む子どもたちが多く、タライやプールにおいての水遊びの中でおもちゃを使って更に遊びを発展させ、水に対する関心を深めて行きたいと感じたから。  
幼児：水遊びを通してプールに入るのを心待ちにしている子どもが多く、水に親しみをもち、水の冷たさを肌で感じながら楽しむ事、そして、もぐったり、バタ足をしたり、段階を経て、泳げるようになる楽しさを感じて欲しい為。

### 2.活動スケジュール

7月：プール設置・ビニールプールを出し、遊び道具などの点検・清掃を行う。  
毎朝水をはり、水温、気温をチェック。子どもたちの体調をチェックし、塩分（塩せんべい）と水分（麦茶）補給を行い、クラス毎にプール遊びを行う。活動後は十分な休息をとる。  
8月：水に慣れ、遊びを広げる。幼児部クラス、特に年長児は、潜ったり、泳げるようになる。  
8月末：プール納めとなり活動は終了となる。

### 3.探究活動の実践

#### 〈活動のために準備した素材や道具、環境の設定〉

プール・ビニールプール、たらい  
ばけつ・じょうろ・水遊び用玩具  
日避け用テント・歩行場所すのこ  
水風船・シェード・うきわ・ビート板  
水分補給の為の麦茶、塩分補給の為の塩せんべい、体調管理の為の体温計

#### 〈活動の内容〉

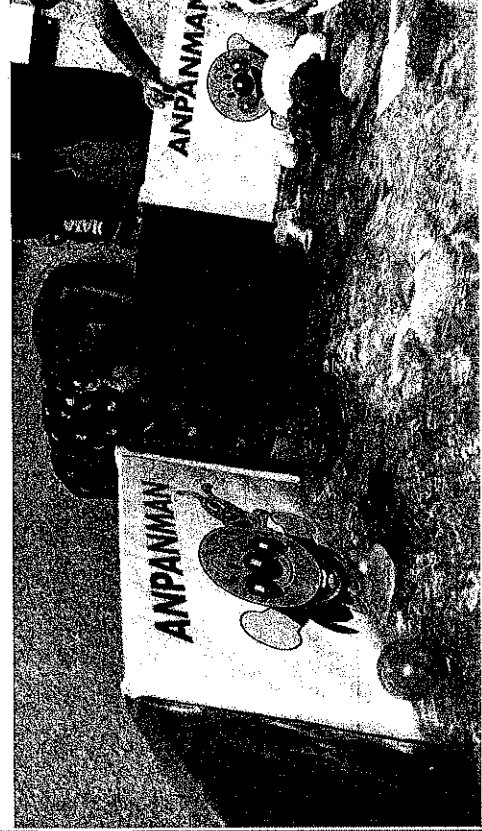
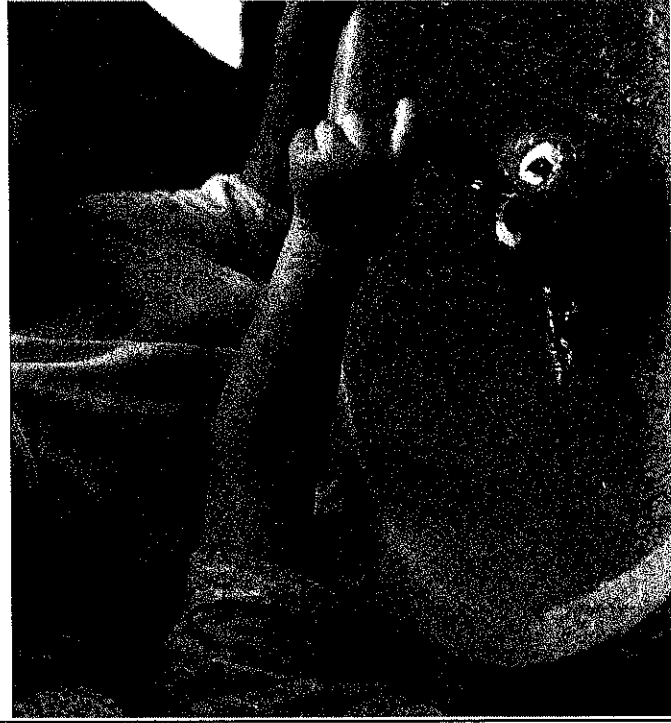
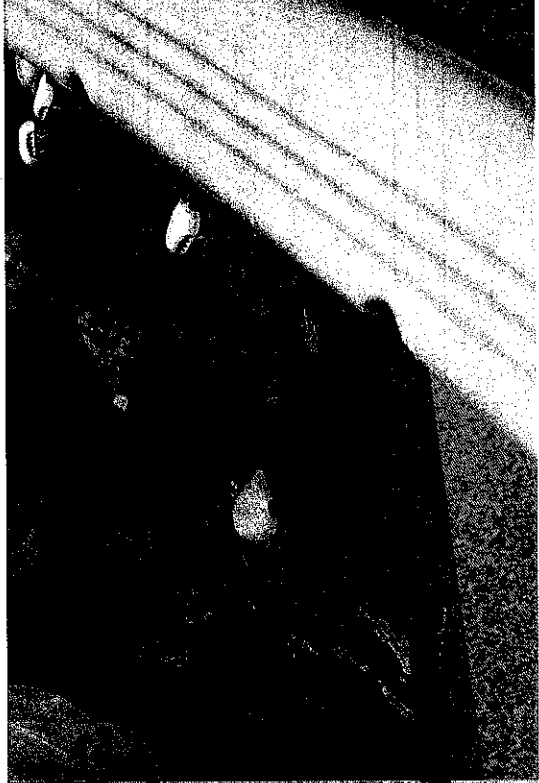
乳児部：年齢に応じ、タライや、子どもの腰丈サイズのビニールプールに入り、おもちゃで遊びながら水の感触を楽しむ。ワニごっこで腹ばいになってプールに寝転んだり、ジョウロでシャワーごっこをして遊びながら水に親しむ。  
幼児：プールの中を歩いたり、肩までしゃがんでお風呂ごっこ。慣れてきたら、顔を水につけて水の中を見る。プールの側面をつかみ、バタ足をして泳いでいるこいのぼりになる。潜って水中じゃけんをしたり、沈んだおもちゃを取る。泳げる子どもは、けのびをしたり、バタ足で泳いでみる。又、皆で一定方向に歩いて水流を作り、流れるプールでプカプカ、クルクルと浮かんで遊んだ。年長児になると、プールサイドから飛び込みをする子も出てくる為、足や頭から飛び込みをする子を見守りながら行なう。  
どちらも活動後は十分な水分補給と休息を取り、お昼寝も落ち着いた中でゆっくりと時間をとった。

#### 4.振り返り〈振り返りによって得た先生の気づき〉

暑い夏の水遊びは、細心の注意が必要で、熱中症予防に、水の事故に気を配った。又、水が苦手な子ともへの配慮も行いながら楽しく水遊びに参加させることができた。テントとシェードにより陽射しを避けることができた為、ほぼ毎日、プール活動ができた。そこで、陽に当たる所と日陰の気温の差を子どもたちが体感していた。  
幼児クラスでは、水を恐がってプールに入るのを嫌がる子どもも一人もいなかった。その為、いろいろなカリキュラムを通して、「もっと泳ぎたい」と、どんどん上達していく子どもが増えていった。  
家庭からは、お風呂のシャワーを嫌がらなくなったり、「スイミングスクールに遇いたい」と話す子も出てきている事を知った。職員も一緒に遊んで子どもたちの様子を見ながらレベルに合わせて、楽しく水に親しめる工夫をしながら来年度にもつなげて行きたい。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

5.活動写真





# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

5.活動写真

